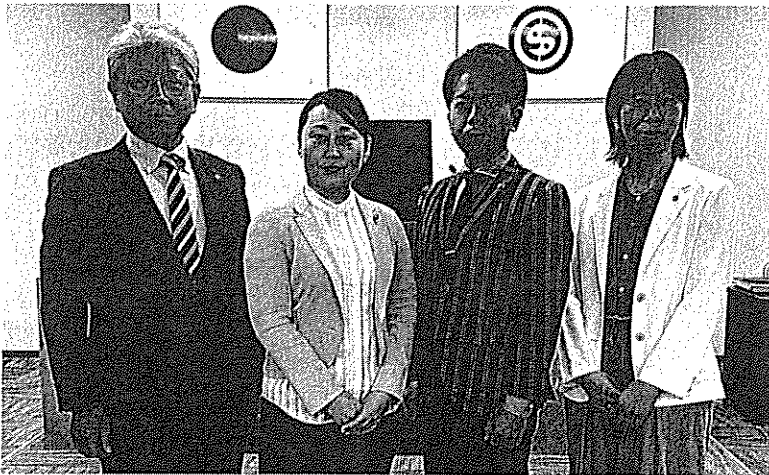




市民の願いをいかした市政の前進を



日本共産党市議団



7月臨時議会にて。左から鈴木、宮下、武下、山脇の名議員

6月4日の市議会議員選挙で、日本共産党市議会議員団は4人全員が当選を果たし、新たな任期をスタートしました。引き続き、市民の願いを市政に届け、くらし・営業を守る市政の前進へ全力で頑張ります。

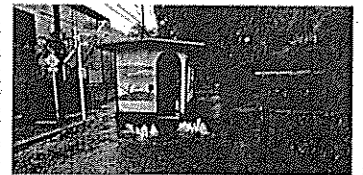
くらし・営業を守る市政のさらなる前進を 頼高英雄市長に申し入れ

6月19日、日本共産党市議会議員団は頼高英雄市長と懇談し、「くらし・営業を守り、市民要望のさらなる実現を求める要望書」を提出しました。

懇談で党市議団は、市民の暮らしや営業における物価高騰の深刻な影響などの寄せられた市民の声を伝え、実施を要望。頼高市長は、「しっかり受け止める」「市長マニフェストと重なる項目もあり、着実に進めていきたい」と答えました。

災害対策、さらなる推進を

6月2～3日の大雨で、蕨市内でも床上浸水10件、床下浸水12件、道路冠水27か所などの被害が発生。党市議団はそれぞれ現場を見回るとともに、被災者の支援や要望の聞き取りなどにあたりました。6月19日の「要望書」でも、土のう配布等の拡充や雨水調整池の整備などを要望しています。



市内各地域で道路冠水。市議団は現場に駆けつけました

公約実現 物価高騰対策(織りなすクーポン) 11月から実施へ 6月定例市議会

高齢難聴者の補聴器購入費補助などは来年4月、18歳までの医療費完全無償化は来年10月実施の意向を示す 頼高市長

6月定例市議会(6月21日～7月11日)では、物価高騰対策第9弾に関する補正予算など市長提出議案のすべてを可決しました。これにより物価高騰から家計と地域経済を応援する「織りなすクーポン第2弾(市民一人5000円・11月から来年1月の予定)」などの施策が実現します。



また、一般質問への答弁の中で、頼高市長は自身の公約



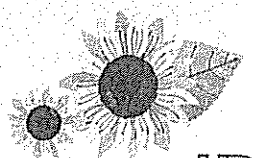
昨年12月～2月に実施された「織りなすクーポン」

※画像は見本です

でも掲げていた高齢難聴者の補聴器購入費補助、带状疱疹ワクチンへの助成、精神障がい者へのタクシー代補助について、来年4月からスタートさせるとの意向を表明。また、18歳までの医療費完全無償化についてはシステム改修などの対応が必要なため、来年10月になるとの見解を示しました。市民から長年要望されてきた内容であり、日本共産党市議団の要望項目とも共通するものです。

改選後の市議会がスタート 7月臨時市議会

7月25～27日、臨時市議会が開催され、市長提出議案のすべてを可決しました。この議会は、市議選後の新たな構成により初めて開催されるもので、常任委員会の所属や役職なども決められました。主な役職では、日本共産党市議団からは、宮下奈美議員が環境福祉経済常任委員長に選出され



日本共産党 蕨市議団の一般質問



発達障害児の早期発見 よりよい療育のため 心理士の配置を

蕨市議会議員 やまわき 紀子

健康福祉部長 現在、保健センターでは、1歳半児、3歳半児、4歳半児の各健診の他、個別相談事業「すこやか発達相談」と「精神発達2次健診」に配置している。

頼高市長 実際に話しを聞いて今後検討していきたい。

◆ごみステーションの問題

山脇 一カ所に多くの世帯のごみが集中する集積所が数箇所見受けられる。対応を検討できないか。

市民生活部長 公衆衛生推進協議会の理事や町会の方々と情報を共有し、カラスネットの追加設置や、ごみステ

ーションの分割などを随時行っている。本年の秋からは、折りたたみ式もやすごみ回収ボックスを、全町会に1台ずつ貸与し、検証し、来年度以降の増設を検討していく。

◆精神障がいの方への福祉タクシー利用券の配付実施を

頼高市長 精神障がいのある方の実際に困っているお話を聞きし、実施する考えにいたった(2024年度から精神保健福祉手帳1級所持者を対象)。

ほかに◆マンション管理適正化推進計画などを質問。



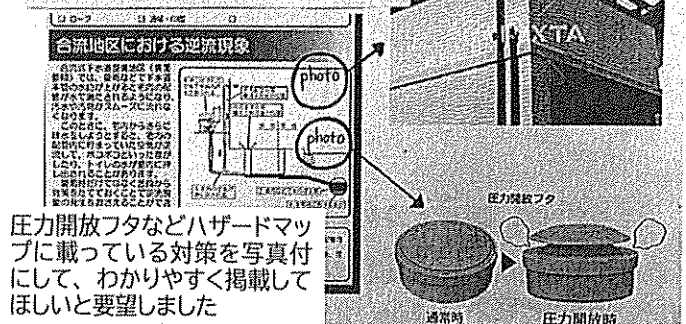
7月1日スタートした パートナーシップ制度 について

蕨市議会議員 宮下 奈美

質問にこたえて、より効果的な運用のために戸田市やさいたま市等近隣市と連携していきたいとの意向が示されました。さらに事実婚カップルも制度に含めてほしいと要望しました。(鴻巣市などが制度に含めている)

◆水害対策について 6月の豪雨ではお風呂やトイレに下水が逆流し数時間使用できなかったとの市民の状況を確認しています。新たな雨水調整池と土のうステーション整備などを要望しました。

内水ハザードマップ



圧力開放フタなどハザードマップに載っている対策を写真付にして、わかりやすく掲載してほしいと要望しました



シティプロモーション、 災害・減災対策 などを質問

蕨市議会議員 武下 涼

◆誰もが訪れやすいまちを 武下 今後、新庁舎や駅前再開発事業など新しい蕨が見えてくる。シティプロモーションへの意気込みは。

頼高市長 わらびりんごや女子サッカープロリーグとの連携などの取り組みを強め、それぞれのストーリー性を大事に発信したい。市民が「やっぱり蕨はいいまちだ」という「まちへの愛着」を高めていくことが市の発展につながると考える。

武下 誰もが訪れやすいまちとなるよう、バリアフリー化や多言語案内板、多目的トイレの案内、授乳コーナー

の設置などユニバーサルツーリズムの推進を。観光イベント等に誰もが参加しやすくなることは、シティプロモーションの推進につながると考える。

◆防災における連携・協働を 武下 「自助」「共助」「公助」における連携・協働が重要。取り組みと課題はどうか。

市民生活部長 地域等との協働による総合防災演習、防災リーダー育成の「わらび防災大学校」の実施、地域での体制強化等を推進。参加者に固定化が見られるが、地域全体に広げ、防災のまちづくりを進めたい。



マイナ保険証一本化は 問題・国は保険証廃止を 中止すべき

蕨市議会議員 鈴木 智

マイナンバーやマイナ保険証に関わるトラブルが多発しています。さらに、マイナ保険証を紛失した際の対応を心配する声や、医療機関の負担が増えることへの懸念などの指摘も。こうした中で、国が来年秋を目指すとしている現行保険証廃止について、中止・延期を求める世論は70%を超えています。答弁では、市立病院でもマイナ保険証で示された適用区分が不適切だったり、紐づけされていない等のトラブルが数件発生していること、マイナンバーカード紛失時には再発行に一カ月弱の期間を

要していることなどが示されました。

国によるマイナ保険証の事実上の義務化・現行保険証の廃止は誤りであり、市としても、国に中止を求めるよう要望しました。

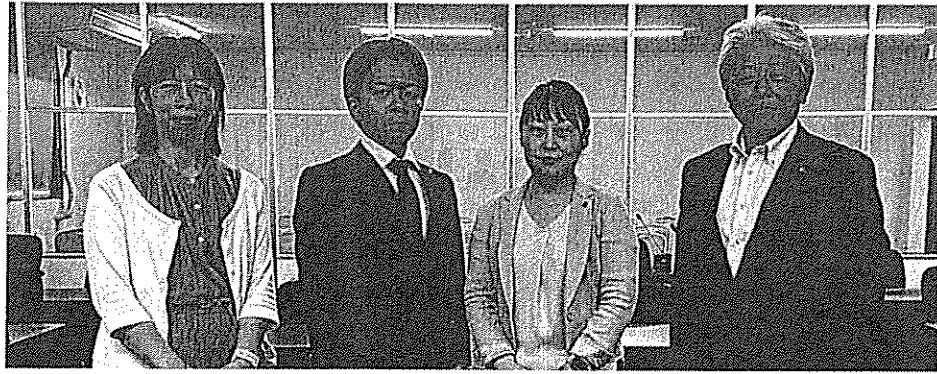
◆市内事業者への支援

以下2点を要望しました。

<1>「魅力ある店舗づくり支援事業」のさらなる拡充を

<2>工事のほか、物品購入などでも市内事業者への発注増へのさらなる努力を

◆高齢難聴者補聴器購入費補助、18歳までの医療費無料化等、市長マニフェスト項目の内容と実施時期など



9月定例市議会報告

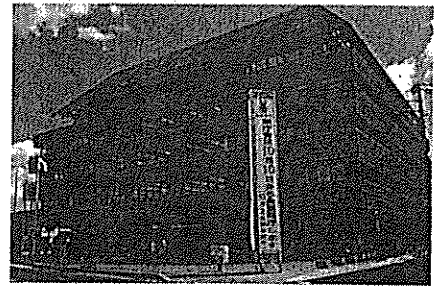
9月定例市議会（9月1日～27日）では、市長提出議案20件、議員提出議案2件が可決・認定され、陳情1件は不採択とされました。

（写真：仮設庁舎の議場にて 左から山脇、武下、宮下、鈴木の各議員）

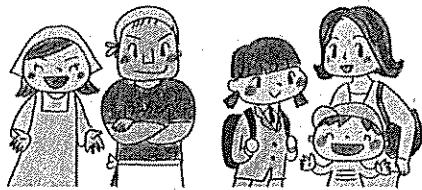
くらし・営業を守る「あったか市政」鮮明に 2022年度決算を認定

「織りなすクーポン」などの緊急対策や市立病院での診療など、コロナ禍と物価高騰から市民を守るために力を尽くすとともに、市役所新庁舎建設など未来を展望する施策も着実に推進してきた2022年度の蕨市政。決算の審議ではこうした取り組みが明確になり、すべての決算が全会一致で認定されました。

（写真：10月10日全面開庁した蕨市役所新庁舎）



子育て・営業の支援をさらに推進！ 一般会計補正予算



新たに開設される多機能型地域子育て支援センターや留守家庭児童指導室（錦町）のための予算、こども医療費18歳までの完全無料化（来年10月実施予定）のためのシステム改修費等を計上。多数の申し込みがあった商店リニューアル助成等の予算も増額されました。

犯罪被害者等支援条例を可決

同条例は、犯罪被害者等が安心して暮らせる地域社会の実現をめざす内容で、遺族見舞金などの支援も定められています。日本共産党市議団は、性犯罪を含む犯罪被害者の支援を市に求めてきました。

現行の保険証を残して！ 切実な願いに保守・公明・維新が反対

相次いでトラブルが報じられるマイナンバーカードによる保険証。来年の秋のマイナ保険証への一本化には、不安とともに、「せめて現行の保険証は存続を」との声が広がっています。蕨市議会へも市民などから、国に現行の保険証を残すよう意見書を出してほしいとの陳情が提出されました。日本共産党市議団は賛成討論を行い採択すべきと主張。しかし、新翔会（保守）、公明党、維新の反対で不採択となりました。

不当な決議に日本共産党など6人が反対

議会最終日、新翔会は新聞報道などを理由に、「市長に反省を求める決議」を提案。決議が指摘する「市長就任あいさつ」については問題ないことが示されたにもかかわらず、新翔会・公明党の賛成で議決されました。これに対し、日本共産党、維新、無所属の議員6人が反対。日本共産党市議団は質疑・反対討論を行い、具体的な根拠を示さない「一方的なもの」と批判しました。

猛暑対策・教員配置など
教育環境の改善を

市議会議員 鈴木 智



◆学校での猛暑対策

鈴木 猛暑の学校環境への影響と対策はどうか。

教育長 予定の授業・部活ができないことや変更する場合があった。対策はエアコン使用、体育館では窓開け、大型扇風機やサーキュレーター、スポットクーラーの使用。児童・生徒の水分補給や適切な休憩など。一部教室では快適な温度を保てていない。状況を把握し快適な環境に努めたい。

鈴木 様々な対策が取られている一方で、教室で30℃を超える例も。実態把握とエアコン補修・更新、断熱改修等の検討を要望する。

◆教員の配置・待遇など

鈴木 教員の欠員状況は。教育長 昨年度は4件。今年度はすでに6件で、初任者の着任辞退や退職、産休、育休、病休に伴うもの。

鈴木 負担軽減の取り組みや相談・研修体制の充実等が必要。また臨時的任用での対応は様々な面で問題がある。県に正規採用教員の増員を要望してほしい。

◆他に、学校近隣の住環境への対応、新庁舎で新設される総合相談窓口と職員対応の充実、西口再開発の進捗状況と駐輪場対策について質問しました。

「子育てするならわらび」
子育て支援策について

市議会議員 やまわき紀子



山脇 保育園・留守家庭児童指導室の待機児童数は。健康福祉部長 保育園の待機児童は、塚越の3歳児1人。留守家庭児童指導室は26人。

山脇 養育費支援事業についての検討はどうか。

部長 ひとり親世帯の経済的自立を支援するため、ひとり親世帯の方が保証会社と養育費保証契約を締結する場合の補助制度を創設。公正証書の作成支援等についても併せて検討していく。

◆現図書館の移転後の利用はどうか

教育部長 文化芸術の拠点にふさわしい活用を関係

各課と協議し計画していく。

山脇 南町地域への分館設置についてはどうか。

部長 設置場所を検討していく。

◆緑川での特定外来植物の駆除と広報を

都市整備部長 「ナガエツルノゲイトウ」は、南米原産の多年草で特定外来生物に指定。9月上旬に市内の緑川において、小規模な繁殖が確認され、10月に駆除を予定。

市民生活部長 市民へ広く周知を行い繁茂対策に努める。

◆他に、道路改修要望、桜並木の安全管理を質問

高次脳機能障害への支援
～理解を広げ支える取り組みを～

市議会議員 宮下奈美



宮下 高次脳機能障害は、脳梗塞や事故などで脳に損傷を受け、以前と同じ能力を発揮できなくなったり、人が変わったようになるなどの症状で、様々な障害を負う状態。市役所に行っても、内容により保健センターと障害者福祉係を行ったり来たりする。負担軽減へ窓口一本化できないか。

健康福祉部長 体制整備等が課題。窓口での丁寧な案内や円滑な引き継ぎ等で負担軽減に努める。

宮下 せめて障害者福祉係に保健師を配置するよう要望する。

精神障害者保健福祉手帳の

更新が切れるとあらゆるサービスが止まり影響は深刻。更新切れの前後で案内できないか。

健康福祉部長 近隣市の状況等を調査し、手帳の発行元の埼玉県にも相談したい。

宮下 研修、イベント、ポスターなどで理解を深めるための啓発を要望する。ポスターでは「こんな症状はありませんか」と疑問形で「些細なことで怒るようになった」などの症状を紹介し、気づきや相談に繋ぐものを当事者の家族が提案している。水面下に隠れた人たちに手を差し伸べる役割を果たすもの。ぜひ検討してほしい。

猛暑から市民の命と健康を守る
取り組みについて

市議会議員 武下 涼



武下 熱中症対策について、本市の取り組み、市民への周知はどのようか。

健康福祉部長 高齢者に啓発チラシなどで注意喚起、市内13の公共施設を開放するクールオアシス蕨を実施。防災行政無線などにより広く周知している。

武下 クールオアシスのポスターは「熱中症は命にかかわるもの」との視点で修正を。生活困窮者へのエアコン購入費助成も要望する。

◆子どもの育成環境の充実、遊び場の確保について

武下 確保の取り組みは。健康福祉部長 児童館で

は創作活動や体験活動を中心とした講座開催など行い、地域との連携にも力を入れている。より充実した居場所となるよう取り組みたい。

武下 積極的な情報発信で魅力を伝えてほしい。

ボール遊びのできる公園・空間の確保状況は。

都市整備部長 必要を認識しているが、一方でスペースの問題や地域の理解など課題もある。市長マニフェストに掲げ、地域の意見なども伺いながら公園選定に取り組みたい。

◆他に、市民参画の推進と手続きについても質問。

日本共産党 蕨市議団 ニュース

2024年2月号

TEL 443-8332
FAX 444-6531

〈市議会議員〉ご相談など、いつでもどうぞ
鈴木 智 444-6957 山脇紀子 446-3129
宮下奈美 211-0922 武下 涼 443-8332
ホームページ <http://www.jcp-warabi.jp>
メール info@jcp-warabi.jp



鈴木 智



やまわき紀子



宮下奈美



武下 涼



頼高英雄市長（左）に 2024 年度予算編成に対する要望書を手渡す鈴木市議団長（右）

くらしを守り 希望が広がる市政を ～日本共産党市議団が予算要望を提出～

11月17日、日本共産党蕨市議団と党市委員会は、頼高英雄市長に「2024年度の予算編成に対する要望書」を手渡しました。

要望項目は224項目。その内、重点要望は34項目で、「深刻な物価高騰・感染症の拡大から市民のくらし・地域の営業を守る」「市民の暮らしと福祉を最優先した行政をすすめる」「安心できる子育て支援をすすめ、教育環境を充実する」「市民の願いを生かし、安全・安心のまちづくりをすすめる」「地域の営業を守る。中小企業支援をすすめ、観光資源の充実をはかる」「さらに親しまれ信頼される蕨市に」の6つのテーマで構成されています。

詳しくは、日本共産党市議団のホームページをご覧ください。



12月議会報告

市立病院の建替え・子育て支援などが議論の焦点に～

12月18日、12月定例市議会は、市長提出議案16件を可決し閉会しました。

主な内容は、市議会議員や市長、教育長の一時金、市職員の給与や一時金などの引き上げ、信濃わらび山荘の廃止にかかわる条例、追加上程された国の進める物価高騰重点支援給付金にかかわる補正予算、市立病院の建替えに関する審議会にかかわる条例や補正予算などです。

日本共産党市議団は、議員の一時金引き上げの条例について、議会内での議論が不十分で一致していないため退席し、採決を棄権しました。

市民からの陳情 趣旨採択を提案

市民から提出された「多機能型子育て支援センター、子育て支援についての陳情書」について、日本共産党は、委員会と本会議で、実現可能性について課題があるものの子育て支援の一層の充実という提出者の意図は市政に生かすべきと述べ、趣旨採択を提案。他会派からも一定の賛同があったものの、保守系の新翔会の7人と公明の反対で実現しませんでした。

市長報告の主な内容

議会の初日、頼高市長は12点にわたる市長報告を行いました。以下、報告された主な内容の一部を紹介します。

蕨駅西口再開発事業 12月25日に起工式、1月9日から本格的な建築工事に着工。令和9年7月の竣工をめざす。

蕨市立病院の建替え整備（詳細はうら面で紹介）

小・中学校の学校体育館へのエアコン整備など

残る西小・中央東小・塚越小の3校は来年度完了予定。学校トイレ改修は予算増額で整備を加速化する。
ふれあい収集事業を開始 10月から事業をスタートし、現在22世帯が利用。

多機能型地域子育て支援センター及び民間留守家庭児童指導室の開設

高校卒業までのこども医療費無料化 実施時期を前倒しして、4月から実施へ。

信濃わらび山荘を廃止

東京医科大学との包括連携協定 地域課題の解決及び地域医療の充実・強化等を推進することを目的に締結。市立病院の充実に関することなどについても連携をすすめる。



ペットとくらすシニアの 備えサポートを

市議会議員 やまわき 紀子



山脇 介護保険を利用した際にケアマネジャーによる「シニアとペットの安心したくらしのためのチェックリスト(仮称)」等を用いていざという時の対応を考えておくべきだと思うがどうか。

健康福祉部長 チェックリスト等を用いた、いざという時の対応は、高齢者がペットと暮らしていくために重要であると認識している。先進市のとりくみなど調査研究していく。

市長 大事な課題である。しっかり考えて取り組んでいきたい。

◆発達障害児をめぐるトライアングル支援の充実を
部長 就学前から学齢期、社会参加に至るまで、切れ目なく支援していく体制を整備していくことは重要。地域自立支援協議会を活用し、福祉関係機関、教育関係機関においての情報共有と連

携強化に努めている。学校と障害児通所施設の連携の必要性や学校及び保護者等への福祉制度の周知等情報提供の重要性について課題の解消について取組を進めていきたい。

山脇 市長マニフェストにも「発達障害の子への支援拡充」とあるが市長の見解はどうか。

市長 トライアングル支援による連携は大事である。保護者への支援や課題や提案をうけてさらに充実したとりくみを行っていききたい。

◆ほかに、「ケアハウス松原の広報について、子育て支援の充実を」について質問



図書館の整備、市立病院 の建替えなど質問

市議会議員 鈴木 智



◆親しまれる新図書館を
鈴木 機能の充実や居心地良い環境は重要。検討状況はどうか。

教育部長 駅直結という利便性を生かし、充実した閲覧・学習ゾーン、子どもエリアなど魅力ある施設を検討している。

鈴木 中高生などの世代に利用を広げるため若い世代向けコーナーの充実やボランティアのつながりなどが大切。また、子どもだけで利用することも念頭に、駐輪場の形式などについて見直し・検討をしてほしい。

◆市民の願いを活かした市立病院の整備を

鈴木 市立病院はコロナ禍の対応のほか、救急、周産期、地域医療、介護との連携などその役割は大きい。建替え方針の検討はどうか。

病院事務局長 西公民館などの一体的敷地への移転建

替え案が最も適している。工期が短く、整備中も経営に影響が出ないことなどが利点。

鈴木 市民の受け止めは様々であり、説明や意見の聴取など丁寧な対応が必要。整備の際は、救急対応の強化、コミュニティバスなどによるアクセスの向上などを希望する。市長の考えはどのようか。

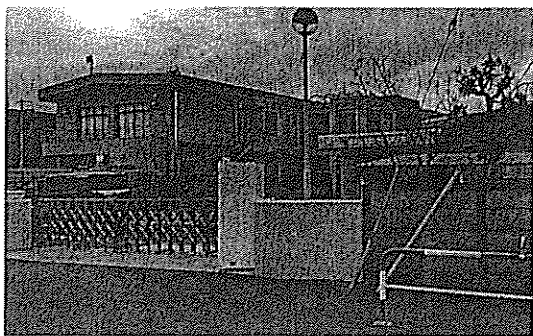
市長 市立病院は大きな役割を果たしてきた。耐震化・老朽化対策を移転建替えて解決するとともに、まちの魅力、強みにもしていく。大変な事業だが財政面も含め、しっかりやりたい。蔵の未来にかかわる大事業であり市民の声をしっかり生かす。ぷらっとわらびなどでのアクセスについても検討する。

◆ほかに、「障がい者の入所施設整備」について質問

市立病院の建替えについて

審議会設置などを可決 本格的な議論へ

移転先に検討されている敷地。西公民館と松原会館は、錦町5丁目に移転・整備する案が示されました。



12月議会を前に、市立病院の建替えについて、錦町の西公民館や松原会館を移転し、同敷地に市立病院を建替える案が望ましいとの検討報告書が示されました。市立病院を休止させることなく病院運営を継続したままで建替えが可能となる内容です。一方で、離れた場所への移転となることなどへの心配の声もあります。



建替えの検討がすすむ市立病院・年間890件の救急車受け入れなど重要な役割を果たしています。

今議会で日本共産党は、市民へのさらなる情報提供と意見聴取を行うとともに、救急など医療体制の拡充やアクセス向上などの計画を具体化していくことを求めました。

最終日には、市立病院検討審議会の設置を可決し、議会の特別委員会設置を決定。今後議論がすすめられます。